

## 平成 24 年度 事業計画書

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

### 【実施方針】

- 1 他の生涯学習関連機関との連携およびネットワーク構築を通して、市民ニーズを踏まえた事業展開を図る。
- 2 市民参画を進め、市民による市民のための学習活動を支援する。
- 3 財団が有する専門性・柔軟性を生かしながら、効率的・効果的な事業運営を行う。

### 【事業計画】

#### 1 **学習機会提供事業**

(寄附行為第 4 条第 1 号に掲げる事業)

(目的) 施設機能を活用し、市内の関係機関およびサークル・団体との連携を図りながら、市民の多様化したニーズに対応した学習機会を提供する。

##### (1) さっぽろ市民カレッジ事業

###### ア さっぽろ市民カレッジ講座

年間を 3 期に分け (4~8 月、9~12 月、1~3 月)、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系で合わせて 331 講座を開く。

###### (a) 市民活動系 (36 講座)

ボランティア活動、市民活動、地域活動などに必要な知識・技術を学び、まちづくり活動などに参加するきっかけづくりや、実践的な学びの場を提供する講座を設ける。

###### (b) 産業・ビジネス系 (37 講座)

リカレント教育の推進、職業能力の向上、産業の振興、社会人の学び直しなどに役立てる。

### (c) 文化・教養系 (258 講座)

趣味・教養講座などで市民の学習意欲の向上を図り、生きがいつくりにつなげる。

(a) (b) (c) 各講座には、ボランティアが企画および運営を主体的に行う<ちえりあ学習ボランティア企画講座> (12 講座)、市民自らが経験や学習成果を生かして開設する<ご近所先生企画講座> (190 講座)、市立札幌大通高校を会場に学校教育と連携する<学社融合講座> (30 講座) を含む。<ご近所先生>は区民センターや地区センターなどと連携して全市的に拡大を図り、<学社融合講座>は世代間交流も含めながら学びのコミュニティづくりに役立てる。

このほか、お試し講座など、受講生を増やすための取り組みも積極的に行う。

### (d) ちえりあ講演会

市民が関心を持つ分野の講師による講演会を開き、市民カレッジへと導くと共に、学習活動の普及啓発を図る。(年 2 回)

## (2) 生涯学習関連機関等連携事業

### ア インターンシップの受け入れ

大学や札幌市立高等学校などと連携し、若年者の勤労意欲の喚起、青少年の職業意識の向上などに役立てる。(8 月～11 月頃)

### イ 高等教育機関などとの連携事業

高等教育機関(大学・短大・専修学校)との連携講座を実施し、それぞれの特性を生かして市民の生涯学習活動および学生の教育の支援を図る。また学生の企画・運営で行う講座を設け、社会教育主事などの育成を行う実践的な場とする。[連携先: 北海学園大学、北海道教育大学、札幌市立大学などを予定]

### ウ 各区からの受託事業

ノウハウやネットワークを生かし、区役所などと連携してまちづくりの推進に役立つ事業を実施する。

### エ フィンランドデイズ(共催)

平成 22 年に続いて「フィンランドデイズ」を開催し、コンサートや音楽ワークショップ、展示などを行う。NPO 法人コンカリーニョや札幌市青少年女性活動協会など提携団体それぞれのノウハウを生かし、ちえりあにおいては施設機能を活用して事業を展開する。

## 2 **人材活用育成事業**

(寄附行為第4条第2号に掲げる事業)

(目的) 市内の関係機関およびサークル・団体と連携し、市民活動およびまちづくり活動を担うことのできる人材を育成する。

### (1) **学習支援者活用推進事業**

市民カレッジ受講修了者が講師となる講座を設けるなど、学んだ成果を生かす場をつくる。

#### **ア 市民講師育成（ご近所先生）**

ご近所先生企画講座を開こうとする市民向けに研修会を開き、“学び合い”の場の担い手を育成して「生涯学習によるまちづくり」の推進に役立てる。

#### **イ 市民ファシリテーター**

まちづくりの現場などでワークショップの企画・運営を担える人材（ファシリテーター）を育成する。

#### **ウ ちえりあビデオクルー**

ビデオ作品制作を通してまちづくりや生涯学習に関する情報の発信を行うことのできる人材を育成する。

#### **エ コーラスボランティア「チェリーズ」**

「楽しく歌ってボランティア」講座修了生によって生まれたグループ「チェリーズ」が実践活動に必要な知識やノウハウを学ぶ機会を提供する。

### (2) **生涯学習関連施設職員研修事業**

区民センターや地区センターなどの職員を対象に、地域住民の学習活動やまちづくりを支援するための研修講座を行う。(2月)

### (3) **生涯学習ボランティア育成事業**

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」および視聴覚教育にかかわるグループ「オンデマンド」の活動を支援し、知識やノウハウを学ぶ機会を提供する。

### 3 **学習活動支援事業**

(寄附行為第4条第3号に掲げる事業)

(目的) 生涯学習に関する情報の収集・発信や学習相談などにより、市民の学習活動を支援する。学習に取り組むきっかけづくりを行うとともに、学習成果を発表する機会および各団体の交流の場を設け、生涯学習の普及啓発を図る。

#### (1) **メディアプラザ運営事業**

##### **ア 図書閲覧・貸し出し**

生涯学習に役立つ図書約2万4千冊を閲覧・貸し出しに供していく。また市立図書館蔵書の貸し出し・返却にも対応する。

##### **イ 音楽・映像・語学教材視聴・インターネット検索**

音楽・映像・語学教材約2万9千点を視聴に供していく。

##### **ウ 学習相談・サークル活動支援**

生涯学習に関する相談に対応し、サークル活動に役立つ情報を提供していく。またインターネットによる情報検索を通して市民の学習活動を支援する。

#### (2) **生涯学習情報収集・発信事業**

##### **ア 「La Chieriatte (ら・ちえりあって)」の発行**

生涯学習センター主催の講座や事業および施設の情報などを提供する広報誌「La Chieriatte (ら・ちえりあって)」を発行する。(年6回 計60,000部発行)

##### **イ ホームページの活用**

生涯学習センターの施設や事業の情報を積極的に発信するとともに、受講申し込みにも活用する。

##### **ウ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行**

市内近郊の行政機関、高等教育機関、民間カルチャーセンター、NPO法人などの講座情報を集約し、市民の学習活動のきっかけとなる情報を提供する冊子「さっぽろ生涯学習情報」を発行する。(年2回 計6,000部)

##### **エ 「子どもの学びガイド」の発行**

子どもの学習・体験の場を充実させていくため、学校休業日における市内公共施設での子ども向け事業を集約したチラシ「子どもの学びガイド」を発行する。(年4回 計372,000部)

##### **オ 各種事業の情報発信**

講座やイベントの情報を市民へ発信するため、ちらしやポスターの制作、ホームページによる情報提供を行う。

### (3) 生涯学習普及啓発事業

#### ア ちえりあフェスティバル

生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザの館内4団体が合同し、市民に生涯学習を広め活動団体との交流を深める「ちえりあフェスティバル」を開催する。(8月)

#### イ サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する「サークル発表会」を開いて意欲向上と活性化を支援し、市民のサークル活動への興味・関心を高めることにも役立てる。音楽や舞踊などの舞台部門と、書道や絵画などの展示部門で構成する。(11月)

#### ウ 幼稚園児のお絵かき展

社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の作品展を開く。(年10回)

#### エ ロビーコンサート

市民の音楽グループの演奏を気軽に聴いてもらう場を設ける。出演団体は公募する。(年10回)

#### オ オペラシアター

専門家の解説のもと、世界一流のオペラのDVDを鑑賞する講座を開く。教材は視聴覚センター所蔵のものを用いる。(年6回)

#### カ ちえりあ映画会

視聴覚センター・メディアプラザが所蔵するDVDによる映画会を開く。学校の休みの時期には子ども向けの内容で行う。(年10回)

#### キ ちえりあ映像フェスタ【新規】

市民から公募した作品および視聴覚センター制作作品の上映会を行い、まちづくりに役立てる。(1月)

#### ク ゆりかごコンサート

未就学児を連れて参加できるコンサートを行って子育て中の親たちに憩いの場を提供し、乳幼児の情操教育にも役立てる。(年2回)

#### ケ 音楽コンサート

生涯学習の普及と啓発を図るため、気軽に参加できるコンサートを開催する。(年1回)

#### コ CDコンサート

昼休みの時間帯に音楽に親しむ場を設け、所蔵する音楽教材および機材の有効活用を図る。作品選定では市民のリクエストにも応える。(月1回)

## **サ ロビーアート展**

ロビーで市民カレッジ受講生の作品展などを行い、学習成果発表の機会提供と学習意欲向上を図る。また壁面に設けたアートウォールにも事業とつながりのある作品を展示していく。

## **シ イマジン音楽祭（共催）**

小中高生が平和をイメージして書いた詩に地元の音楽家が曲を付けて発表するコンサートを開き、音楽を通じた平和教育を行う。（10月）

## **ス カルチャーナイト（共催）**

市内の各施設がそれぞれのプログラムを一斉に実施する事業に参加し、芸術・文化の活性化を図る。（7月）

## **セ 北海道吹奏楽フェスティバル（共催）**

若手プロ奏者たちによるアンサンブルの演奏会と、中学・高校の吹奏楽部に公開レッスンをを行うレクチャーコンサートを開く。（2月）

## **（4）文化振興事業**

質の高い芸術・文化に触れる機会を提供し、生涯学習の浸透および地域に根ざした芸術・文化の活性化を図る。

### **ア 落語学校鑑賞会**

公益財団法人落語芸術協会と連携し、市内小学校6校を無料招待して子どもたちに質の高い芸術・文化に触れる機会を提供する。（6月）

### **イ ちえりあ学生寄席**

プロ公演仕様の「ちえりあ寄席」のステージで、北大落語研究会の学生が成果を発表する機会を提供する。（8月）

### **ウ ちえりあ寄席**

落語芸術協会と連携し、伝統芸能の世界に親しむ「ちえりあ寄席」を開く。真打ちとはもとより、前座、二つ目、色物も出演する道内唯一の本格的な寄席。（8月）

### **エ 特選若手落語会**

若手落語家の魅力を市民に紹介するとともに、気軽に落語を楽しむことができる機会を提供する。落語学校鑑賞会と並行開催。（6月）

### **オ 秋のお気軽落語会**

落語の世界とその魅力を紹介する講座型の催し。上記イ・ウ（8月）、ア・エ（6月）と合わせ、落語事業の通年化を図る。（11月）

## 4 **調査研究事業**

(寄附行為第4条第4号に掲げる事業)

(目的) 市民のニーズに対応した生涯学習事業のあり方について調査研究する。

### (1) **調査研究事業**

高等教育機関と連携し、さっぽろ市民カレッジ受講生のデータを活用した生涯学習の状況を調査し、今後の事業展開や、成果を地域に生かす活動のあり方について検討する。

## 5 **生涯学習関連施設管理運営事業**

(寄附行為第4条第5号に掲げる事業)

(目的) 札幌市の委託または指定を受けて、次に掲げる施設の管理運営を行う。

### (1) **札幌市青少年科学館等管理運営事業**

札幌市からの指定を受け、科学および技術に関する知識の普及啓発と創造性豊かな青少年の育成を図ることを目的に、札幌市青少年科学館の管理運営を行う。

#### **ア 展示事業の運営**

##### (a) **常設展示**

宇宙、北方圏、電気、力学などのテーマに沿った展示物を、より楽しく、また理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらう。

また、札幌市と連携し、新しい展示物の制作・設置にも取り組む。

##### (b) **展示実演など**

科学の原理や技術の理解を楽しみながら深められるよう、サイエンスショーや、テレビスタジオおよび低温展示室での実演など、参加型の展示を行う。

##### (c) **特別企画の開催**

- ・ **特別展**

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開く。

- ・ **巡回展・企画展等**

必要に応じ、特定のテーマに沿った巡回展や企画展を開く。

#### (d) 講座・教室など

科学に親しむ実験、工作教室や講座等を行う。

日曜実験室 (毎日曜祝日ほか)	自ら実験してもらうことで子どもたちの「科学する心」を養う。生活に密着した題材や遊びの要素を取り入れ、内容の理解を促す。
科学館の工作室 (毎日曜祝日ほか)	主に小中学生を対象に、科学的動作原理、材料の利用、道具の正しい使い方の習得とものづくりへの興味を呼び起こす。大人向けにも行う。
サイエンジャー 科学教室 (月1回程度)	主に小中学生を対象に、工作・実験などの教室を開く。大人向けにも行う。
親子向け 実験・工作教室 (年2回)	親子一緒に、科学に親しみを感じてもらえることができる実験・工作教室を開く。
ちびっこ ワークショップ (年10回程度)	主に就学前の子どもとその保護者を対象に、科学に親しみを持ってもらう事業を行う。遊びの要素を多く取り入れる。
工作競技会 (年1回)	科学への興味を呼び起こすため、自分で工作した物を使った競技会を実施する(例えば、自分で作った紙飛行で飛距離を競うような簡単で楽しめる競技会)
バックヤードツアー (年2回)	普段見ることのできない展示室裏側の見学会を行い、科学館に親しみを感じてもらえるよう図る。
科学クラブ (Sciキッズ)運営	小中学生の会員を募り、実験や教室などを開催してリピーターの拡大につなげる。会員は半年毎に更新する。
科学映画会	ゴールデンウィーク期間や科学技術週間(4月半ば)に、科学普及を目的とした映像作品を上映する。
先端科学技術講座 (年1回)	最先端の技術者や話題の科学者を招き、科学を身近に感じてもらうような講演・実演を行う。
環境科学展 (年1回)	札幌市内近郊で環境問題に取り組む企業の活動を分かりやすく紹介してもらう。

#### (e) 学校連携・支援事業など

市内小学校・中学校などと連携して教室や講座を開く。また学校との関係を密にしながら、授業や学校活動などへの支援も行う。

移動科学館	小学校などに出向いて実験や実演を行い、理科授業に協力する。
幼児のための 出前サイエンス	幼稚園などへ出向き、遊びの要素を多く取り入れた実験・実演・工作教室を行う。

中高生による 科学教室 (年1回)	生徒自身が研究成果や制作作品などの展示・実演・解説を行う機会を提供する。
大学生による 科学教室	大学生が講師となって子どもたちに科学教室を開く機会を提供する。
総合的な学習の 受け入れ	児童生徒の自主研修などを受け入れ、総合的な学習への支援を行う。
職業(職場)体験の 受け入れ	職場体験を受け入れ、学習活動への支援を行う。
実験実習セットの 貸し出し	学校では準備が困難な実験・実習キットを貸し出し、授業に協力する。
実験実習セットの 制作	学校教員と連携し、効果的な授業作りのための教材や学習プログラムの開発と制作を行う。
家庭教育学級の 受け入れ	小学校の家庭教育学級を受け入れ、家庭の教育力の向上に協力する。
教員研修	授業やクラブ活動に生かせる観察・実験の紹介や実習を通して教材研究に協力する。
博物館実習等の 受け入れ	学芸員の資格取得を目指す学生やインターンシップ体験実習の学生などを受け入れ、指導する。

#### (f) 科学館ボランティアの養成

実験や工作の手伝いなど、自らが楽しみながら科学普及の一翼を担えるような人材を養成する。

### イ 天文事業の運営

#### (a) プラネタリウム投影

プラネタリウムの機能を生かし、天文教育の普及啓発を行う。

一般投影	星や星座についてわかりやすく解説し、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供する。
学習投影	小中学校の理科授業の一環として、天体の動きや満天の星空を眺めて天文への興味関心を呼び起こす。
特別投影 (年7回程度)	季節あるいは新しい話題に的を当てたり、通常よりも掘り下げたりした内容の投影を夜間を中心に行う。
オート番組制作	オリジナルの内容を盛り込み、一般投影などで上映するオート番組を制作する。
イブニング プラネタリウム (年6回程度)	週末の夜間に一般投影を行い、通常の開館時間中に来館できない人に観覧機会を提供する。

字幕つき プラネタリウム	一般投影に字幕をつけ、聞きとりに障がいのある人などに鑑賞の機会を提供する。
-----------------	---------------------------------------

**(b) 天体観望事業**

天体観望会	プラネタリウム特別投影やイブニングプラネタリウムの開催に合わせ、科学館駐車場において移動天文車などを使った観望会を行う。
移動天文台	移動天文車を派遣し、天文台を利用する機会の少ない市民に自分達の住む地域で天体観望する機会を提供する。
札幌市天文台 公開	日中は太陽観望、夜間は季節の代表的な天体を観望する機会を提供し、天文に対する興味・関心を高めてもらうとともに、天文台の利用拡大を図る。

**(c) 教室・講座等**

科学に親しむ実験、工作教室や講座等を行う。

大人のための 天文教室 (年5回程度)	初心者向けや中級者向けなど段階別の内容で、天体観測機器やプラネタリウムを活用しながら開く。
親子天文教室 (年2回程度)	小学生とその保護者を対象に、天文工作（手作り望遠鏡など）と天体観望を組み合わせた講座を開く。
宇宙セミナー	第一線の専門家などを招き、最新の天文情報に基づく、宇宙・天文についての興味・関心を高める講座を開く

**(d) プラネタリウム祭り**

コンサートや絵本の読み聞かせなど科学以外のジャンルと組み合わせた内容を提供し、プラネタリウムの認知度アップと天文事業の普及啓発を図る。

**(e) 4次元デジタル宇宙シアター**

国立天文台開発の4次元プログラムによる宇宙空間の立体映像を解説つきで上映し、天文に対する興味・関心を高める。

**(f) 学校連携・支援事業など**

小中学生を対象に、理科授業支援の一環として「プラネタリウム学習投影」を行う。(再掲)

**(g) 天文指導員の養成**

天文に興味を持っている学生や一般を対象に定期研修や天文事業への参加機会を提供し、天文普及の一翼を担う人材を養成する。

**ウ 共催事業**

**(a) 札幌市中学校「私たちの科学研究発表会」(札幌市中学校文化連盟)**

科学クラブを対象に、研究活動発表会を開催する。(11月頃)

**(b) 気象講座「新しい気象」(社団法人日本気象学会北海道支部)**

身近な気象現象や話題性のあるテーマについて、専門の講師が最新の研究・情報をわかりやすく紹介し、気象学の啓発を図る。(7月頃)

**(c) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(財団法人日本宇宙フォーラム)**

宇宙の日(9月12日)を記念して小中学生を対象に「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」を行い、受賞作品を表彰する。最優秀作品は全国審査に進む。

**(d) 札幌市創意くふう作品展(札幌市創意工夫教育研究会他)**

小中学生の自由研究などで制作した応募作品から入賞作の展示を行い表彰する。

**(e) 北海道青少年科学技術振興作品展(北海道発明工夫教育連盟他)**

小中学生の自由研究などで制作した応募作品から入賞作の展示を行い表彰する。

**(f) 定山溪自然の村観望会(財団法人札幌市青少年女性活動協会)**

光害の少ない定山溪自然の村で観望事業を行い、星雲や流星などの淡い天体を見る。(8月頃)

**(g) さっぽろ星まつり(財団法人札幌市公園緑化協会)**

市内の大規模公園で天体観望事業を行う。

**(h) ちょっと大人のカルチャーナイト(同実行委員会)**

厚別区内の地域資源である当館を活用した大人のための文化事業を実施する。(1月頃)

**(i) 藻岩で星見ナイト(札幌市観光文化局環境コンベンション部)**

札幌市観光文化局観光コンベンション部が主催するイベントに職員と天文車を派遣して協力実施する。(8月頃)

**エ 学習支援・情報発信事業**

**(a) 学校連携支援事業等**

理科授業や総合的な学習への支援をはじめ、市内小中学校などと連携した事業を行う。

**(b) 天文相談コーナー(星のへや)の運営**

代表的な天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナー「星のへや」を設け、初歩的な質問に答えるなど、天文学習を支援する。

**(c) ホームページによる学習支援・情報発信**

ホームページ内に科学トピックスやワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行う。また「科学の質問箱」では、本で調べるのが難しい質問への回答を掲載する。

**(d) 「科学館ニュース」の発行**

最新のイベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、館内掲示と市内小中学校・幼稚園などへの配布を行う。

### **(e) 科学技術に関する資料の収集**

展示物の解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集する。

### **(f) 天文資料の収集**

天文に関する解説資料や出版物を収集するとともに、札幌市天文台および移動天文車で天体写真を撮影し、資料として収集する。

## **オ 利用者などの声を生かす取り組み**

### **(a) 科学館運営協議会の開催（年2～3回）**

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開き、事業を検証するとともに、助言を運営に生かす。

### **(b) 小学校・中学校連絡会の開催（各年1回以上）**

小学校と中学校から、理科教諭を中心に科学館の在り方や学校との連携方法などについて意見を聞く場を設け、運営に生かす。

### **(c) 子ども科学会議の開催（年1回以上）**

小学校児童を中心に、科学館への要望や、あったらいい展示物などの意見を聞く場を設け、運営に生かす。

### **(d) 利用者アンケートの実施**

特別展や特別投影などで利用者へのアンケート調査を行い、事業に生かす。

### **(e) 科学館感謝デーイベントの実施**

開館日（10月4日）を記念した科学館感謝デーイベントを行い、幅広い年齢層の来館と閑散期の集客を図る。

## **カ 施設設備等拡充事業**

### **(a) 展示物の制作**

展示物をより充実させるため、新規展示物の制作を行う。

## **(2) 札幌市生涯学習センター管理運営事業**

札幌市の指定を受け、生涯学習にかかわる活動を支援することを目的として、札幌市生涯学習センターの管理運営を行う。

### **ア 貸室事業**

市民の学習活動の場として、ちえりあホールおよび各種研修室を提供する。ちえりあホールの直前割引サービスおよび陶芸室・焼窯室の割引サービスを継続し、ホール利用率向上のため営業活動に努める。

### **イ 施設の有効活用**

学習成果の発表の場として展示スペースを無料で提供し、空き室を受験生などの学びの場として開放するなど、弾力的な運営を行う。

## **ウ 利用者などの声を生かす取り組み**

### **(a) 生涯学習センター運営協議会**

札幌市教育委員会が学識経験者などにより設置した協議会に出席し、事業の検証や助言を運営に生かす。

### **(b) 利用者アンケートの実施**

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを行い、市民から寄せられる意見と併せて運営に生かす。

## **(3) 視聴覚センター管理運営事業**

札幌市からの委託を受け、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行う。

### **ア 学習教材の開発事業**

学校教育および社会教育の関係者などに委託して地域に密着した教材を制作し、提供教材の充実を図る。

### **イ 視聴覚教材の貸し出し事業**

市内の学校、町内会やサークルなどに対して 16 ミリフィルム、ビデオ、DVD 教材の貸し出しを行う。また、ホームページ上での自主制作教材の配信「デジタルアーカイブス」を継続し、さらなる充実を図る。

### **ウ 視聴覚学習機会の提供事業**

学習活動や地域活動の中での 16 ミリ映画利用促進を目的として 16 ミリ映写機操作技術講習会を開催する。(年 3 回)

### **エ 共催事業**

#### **(a) 中学校校内放送コンテスト (札幌市中学校放送教育研究会)**

中学校放送局員が制作した番組とアナウンサーの放送技術に関するコンテストを開く。(年 1 回)

#### **(b) 中学校校内放送技術講習会 (札幌市中学校放送教育研究会)**

中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を開く。(年 2 回)

#### **(c) 日本映画名作祭 2012 (札幌映画サークル)**

東京国立近代美術館フィルムセンターの保有する貴重な日本映画フィルムの提供を受け、4 作品を 2 日間上映する。(11 月)

## 6 **収益事業**

(寄附行為第4条第6号に掲げる事業)

### (1) **売店・自動販売機事業（札幌市青少年科学館）**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店・自動販売機事業を行う。

### (2) **レストラン・自動販売機事業（札幌市生涯学習センター）**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的としたレストラン・自動販売機事業を行う。